

ゴルフプレーにかかる注意事項

1. ゴルフプレーの基本原則

施設利用者は、ゴルフコースにおいては、エチケット及びマナーを守り、かつ競技ルールに従い、全て、自己の責任において、安全を確認のうえ、他に危険や迷惑を及ぼさないようにプレー（以下、プレー開始から終了までの間の施設利用者を「プレーヤー」と称します。）して下さい。

2. 素振り等に関する注意事項

- (1) ティーイング・グラウンド内の打席又は指定された場所以外では、素振りをしないで下さい。
- (2) 素振りは、必ず、前方近傍に人のいないことを確認したうえで、行って下さい。
- (3) 打順にあるプレーヤー以外の方は、ティーイング・グラウンドに立ち入らないで下さい。

3. 打球に際しての注意事項

- (1) キャディ又はフォアキャディがいる場合にあっては、これらの者が打球開始の合図をするまで打球しないで下さい。
- (2) 先行組がいる場合においては、キャディ又はフォアキャディが、打球開始の合図をした場合でも、打球しようとするプレーヤー（以下「打者」と称します。）は、自己の責任において、自己の打球の飛距離を判断して、安全を確認したうえで、打球して下さい。
- (3) 先行組のプレーヤーの位置が、ブラインドで確認できない場合において、フォアキャディがいる場合には、その合図を参考にして、打球することは差し支えありませんが、飛距離の大きい方が打球する場合、あるいはフォアキャディがいない場合には、確認できるまで待機し、あるいは確認できる場所まで移動して、安全を確認して下さい。
- (4) 打者の同伴プレーヤーは、グリーン以外の場所では、打者の前方に出ないで下さい。打者は、グリーン以外の場所においては、打球に際して、前方にキャディ又は同伴プレーヤー（以下、キャディ及びプレーヤーを総称して、「プレーヤー等」と称します。）がいる場合には、打球に先立って、後方に退避するように促し、その退避を確認したうえで、打球して下さい。
- (5) 打球が、隣接ホール、その他の人がいる可能性のある方向に飛行した場合には、打者は、直ちに、大声で、「ファー（f o r e）」と叫ぶなどして、警告を発して下さい。

4. 他のホールに打ち込んだ場合の措置

他のホールに打ち込んだ場合において、その打球がインプレイの状態にある場合には、そのホールにおけるプレーヤー等に合図したうえで、当該プレーヤー等のプレーの妨げにならない状態になってから、当該プレーヤー等及び同伴プレーヤー等に危険が及ばないことを確認したうえで、打球して下さい。

5. 後続組に打球させる場合の措置

ホールアウト前に、当該ホールにおいて、後続組のプレーヤーに打球をさせる場合には、後続組に対し、その旨の合図を送ったうえで、後続組のプレーヤー全員が打ち終わるまで、安全な場所に退避して下さい。

6. ホールアウト後の措置

ホールアウトした場合には、直ちにグリーンから出て、後続組の打球に対して安全な場所を通過して、次のホール、その他の目的地に向かって下さい。

7. 雷鳴等があった場合の措置

雷鳴、雷光により、クラブから雷警報が発せられた場合には、直ちにプレーを中止して、最寄りの避難場所（クラブ・ハウス、コース売店、避難小屋）に退避して下さい。この場合、クラブから雷警報の解除報が発せられるまで、あるいは当クラブから別に指示があるまでは、プレーを再開せずに、避難場所で待機して下さい。

8. プレー終了後のクラブ等の確認

- (1) 施設利用者は、ゴルフプレーの終了後、クラブ等を点検し、プレー中に、紛失したクラブ等がないことを確認して下さい。
- (2) 当クラブは、前項の確認に際して、クラブ等の紛失の申出があった場合には、その探索のために、必要な協力を致します。